

C.C.O.M

広島 の 生協

平和とより良き生活のために

JUN.2017 VOL.62

広島県生活協同組合連合会

発行 2017年6月20日



健康と美を求めて、練習に励む人たち。

【写真撮影協力】：広島市西区「エイブル広島」伊藤太極拳教室

特集：「けんこう」

特集Ⅰ：「けんこうチャレンジ2017」1-4

・けんこうチャレンジ2017

・3医療生協の紹介

広島医療生協

広島中央保健生協

福山医療生協

「ひろしまヘルスケアポイント」

(広島県健康福祉局地域包括ケア・高齢者支援課)

特集Ⅱ：「2017年度平和活動」… 5-7

・市民平和6団体 2017年度平和活動

キックオフ集会

・ヒバクシャ国際署名

会員生協トピックス …… 8・10

・ぼうさい学習会

・「子ども食堂・居場所」シンポジウム

(広島中央保健生協)

・ユニセフラブウォーク

(日立造船因島生協)

・赤ちゃんサポートステーション

(フラワーフェスティバル & 福山バラまつり)

・ワーカーズ協同労働事例発表会

事務局だより …… 11

・2017ピースアクションinヒロシマ

・2017市民平和フォーラム(仮称)

・特別寄稿「創立50周年に寄せて」

吉本政治さん

・理事会報告・委員会報告 …… 13

・消費者トラブルの手口を知ろう②

「日々のことから」 …… 14

広島 YMCA 総主事

上久保 昭二氏

・編集室から

50th Anniversary

広島県生活協同組合連合会は
今年創立50周年を迎えます

健康づくりの輪を
広げよう！
健康寿命を延ばそう！
『けんこうチャレンジ
2017』

主催：広島県生協連

共催：広島中央保健生協、広島医療生協、福山医療生協、
生協ひろしま、日立造船因島生協、広島県農業協同組合中央会

生協・農協・広島県が連携して
取り組みます

広島県内の3つの医療福祉生協（広島中央保健生協、広島医療生協、福山医療生協）は、健康習慣の定着と健康寿命の延伸を目指して、健康に関する取り組みを進めてきました。2015年度からは「けんこうチャレンジ」として、広島県生協連が主催となり、実行委員会を組織して取組んでいます。実行委員会には、3つの医療福祉生協、生協ひろしま、日立造船因島生協の他に、広島県農業協

生協・農協・広島県が連携して
取り組みます

2016年は申込目標5,000名に対し5,125名の参加があり、前年比130%となりました。2016年から後援をいただいた広島県・全市町と全教育委員会に加え、2017年からは新たに共催として、広島県農業協同組合中央会にご参加いただき、チャレンジ申込数7,000名を目指し取り組みます。今年の特徴的な動きとしては、教育委員会を通して、広島市中区小学校校長会や、三次市小学校校長会の会議に出席し、取り組みの紹介と参加の呼び掛けをしています。

るよう、取り組んでまいります。健康に関する行政との連携では、その他にも広島医療生協は広島県の「健康生活応援店」の「健康づくり関係団体」で登録。広島中央保健生協は、広島市の「元氣じゃけんひろしま21協賛団体」の「健康づくり関係団体」として登録。生協ひろしまは広島県の「ひろしま健康づくり県民運動推進会議」の特別協賛団体であり、「がん検診に行こうよ」推進会議の会員となっているなど、いろんなところで健康増進に取り組んでいます。

(文責：広島県生協連福島守)

(文責：広島県生協連 福島 守)

ひろしまヘルスケアポイント対象事業

健康寿命をのばそう!
Smart Life Project

けんこうチャレンジ

2017

とくくみ
期間

7月~10月のうち2か月間

申し込み締切 8月31日

結果報告締切 11月30日

誰でも
参加
できます!

このころの歴史、文化、この町の自然に、参加委員会

げんきにたのしく
チャレンジ

2017/

きっず けんこうチャレンジ

とくくみ期間

7月~10月のうち30日

申し込み締切 9月30日 結果報告締切 11月30日

主催 広島県生活協同組合連合会

共催 広島医療生活協同組合、広島中央保健生活協同組合、福山医療生活協同組合、生活協同組合ひろしま、日立造船団員生活協同組合、広島県農業協同組合中央会

協賛 ひろしま教育・健康づくり実行委員会

後援 広島県・広島県教育委員会・広島市・広島市教育委員会・岡市・岡市教育委員会・竹田市・竹田市教育委員会・三田市・三田市教育委員会・尾道市・尾道市教育委員会・福山市・福山市教育委員会・府中市・府中市教育委員会・三田市・三田市教育委員会・三田市・三田市教育委員会・大竹市・大竹市教育委員会・東広島市・東広島市教育委員会・廿日市市・廿日市市教育委員会・安芸高田市市教育委員会・江田島市・江田島市教育委員会・府中市・府中市教育委員会・海田市・海田市教育委員会・熊野町・熊野町教育委員会・尾市・尾市教育委員会・安芸太田町・安芸太田町教育委員会・安芸太田町・安芸太田町教育委員会・大府市・大府市教育委員会・吉原町・吉原町教育委員会・神石高原町・神石高原町教育委員会・JA福山市・エフエムふくやま・中国新聞社

広島中央保健生活協同組合

〒733-0031 広島市西区難波町16-10
TEL 082-532-1264 FAX 082-532-1267

広島医療生活協同組合

〒731-0121 広島市安芸区中俣2-19-6
TEL 082-879-8124 FAX 082-879-8182

福山医療生活協同組合

〒720-0882 福山市木下庄町2-2-2
TEL 084-973-2280 FAX 084-926-3080

パンフレットのお求め・お問合せ先

同組合中央会、広島県（ひろしま）食育・健康づくり実行委員会）も参加して、広島県全体の健康寿命を延ばす取り組みとして行っています。

身近なテーマで習慣づけ
けんこうチャレンジは

けんこうチャレンジは、大人は2か月間、キッズは30日、自分で選択したチャレンジ内容を毎日実践します。チャレンジ分野は食事、運動、生活リズムなどをテーマにした11コースを設定。複数選択も可能です。各生協で行われるチャレンジ応援企画によって、申込者のチャレンジ

ことになります。

広島県「ひろしまヘルスケアポイント対象事業」

さらに今年度のけんこうチャ

※健康寿命：平均寿命から日常的・継続的な医療・介護に依存して生きる期間を除いた期間

けんこうチャレンジ 2017

福山医療生協

すべての世代を対象にした多彩な健康づくり運動

けんこうチャレンジ 2016の取り組み

福山医療生協では、2016年度は参加目標1,000名に對し、1,192名の方が参加し、目標を達成することができました。

組合員は各支部で目標を立て、職員は全職員・家族対象で取り組みました。

普及・広報活動では、今年度初めて、福山市教育委員会から、小学校・幼稚園・公民館・図書館などへ一斉送信をしていたいただきました。また、「エフエムふくやま」のラジオ番組に出演しました。けんこうチャレンジ企画としては、食・口腔（歯）・運動企画に取り組みました。食企画では初めてプロの料理人をお招きして「おいしいだしのとり方・おいしいだしで減塩料理」の調理実習を行いました。口腔企画では「口腔ケアと歯みがきのコツ・あいうべ体操」、運動企画では「ダイエットに効果的！ウォーキングのしかた」、それぞれとても好評でした。2017年度は、目標を1,500名にして取り組みます。

WHOウォーキング

春と秋の年2回健康ウォーキング



▲笑いヨガ講習会▼



歯科衛生士による口腔指導



▲おいしいだしのとり方・おいしいだしで減塩料理



(上写真2点) トレーナーによる体操指導



すこしお調理実習の様子



乳がんの自己チェック講習



WHOウォーキング (上の写真3点)



健康チェックサポーター養成講座



脳いきいき班会養成講座の講義・班会で行う紙芝居やゲームの実践のようす (上3点)



ングに取り組んでいます。
2015年度は春の「庄原丘陵公園散策ウォーキング」は91名

秋の「三原日童湖ウォーキング」は87名
秋の「ぐるっと瀬戸田の寺めぐりウォーキング」は86名の参加
でした。

2016年度は春の「府中歴

史街道ウォーキング」は87名
秋の「ぐるっと瀬戸田の寺めぐりウォーキング」は86名の参加
でした。

「すこしお生活」はじめましょう
「すこしお生活」とは「少しの塩分」で「すこやかな生活」をめざす医療福祉生協のとりくみの総称です。
○すこしお調理実習の開催
1食塩分2g未満500kcalを
目指そう
○減塩生活(塩分測定器)を使っ
て、減塩を呼びかけています。
○ちよっとかけスプレーの普及
も行っています。

健康づくりをすすめる人づくり
保健学校を開校し保健委員の養成
の増進
脳いきいき班会で、健康寿命
の増進
脳いきいき班会インストラク
ター養成講座
2014年度に脳いきいき班
会(教室)インストラクター養
成講座を開催し、14班の脳いき
いき班会を開催しました。その
後も、継続している班員4人が
脳いきいき班会マスター養成講
座を卒業しました。2017年
度はマスターの4人が講師とな
り、脳いきいき班会を地域に広
げていきます。

(報告) 福山医療生協

宮澤 千明 部長

けんこうチャレンジ 2017



ふれあい会食



健康サポーター養成学校



地域の青空健康チェック



ウォーキング



200人が参加したグランドゴルフ大会



歌って踊るカラオケ班会



心のとり木サロン

けんこうチャレンジ2017と広島医療生協の健康づくり活動

広島医療生協

広島医療生協では、今年も7月からけんこうチャレンジに取り組みますが、けんこうチャレンジ以外にも組合員による多くの健康づくり活動があります。その1つは、『健康サポーター養成学校』。血圧測定や体脂肪測定、運動や食事など日常でできる健康づくりを中心にした学習講座で、2016年に初めて開校しました。多くのサポーターが生まれ、自分の健康チェックだけに終わらず、地域の青空健康チェックへ参加し活躍しています。

他にも、組合員が集まって地域の方へ料理をふるまい、そこで健康チェックを行う「ふれあい会食」や、町の喫茶店をお借りして地域のおしゃべりサロンを開いている「心のとり木サロン」や、春と秋に行うウォーキング、歌って踊るカラオケ班会、総勢200人を超えるグランドゴルフ大会など、組合員が主体の健康づくりがたくさんあります。

これからも楽しみながらできる健康づくりの輪を拡げていき、活動を支えていきたいと思っています。

広島医療生協理事
健康づくり委員会

教育委員会や児童館、放課後児童クラブを回って普及促進

広島中央保健生協



スポーツ吹き矢大会



健康チャレンジ教育担当

広島中央保健生協では、けんこうチャレンジ普及に向けて、5月より組織訪問をすすめています。まず、小中学校を管轄している広島市教育委員会学校教育健康課へ訪問し、広島市内にある小・中・特別支援学校の全207校分の、パンフレット見本を届けてまいりました。さらに今年度は、青少年育成部・放課後対策課、そして広島市中区・西区・佐伯区の地域おこし推進課を訪問し、児童館・放課後児童クラブ担当者にも、けんこうチャレンジについて紹介しました。児童館などへの案内は、支部運営委員会が提案されたものでした。

外部団体とのつながりを強める一方、生協内でもけんこうチャレンジを盛り上げるための取り組みが行われています。その一つが、各地域・支部で普及

するために組織した、けんこうチャレンジ推進委員会です。健康づくり委員・健康づくり連絡員、そして各支部から選出されたチャレンジ推進委員の総勢23名で、2か月に1回程度、チャレンジに関する意見交換をしています。まだ2回しか行われていない会議ですが、すでに普及のためのアイデアが多く寄せられ、広報活動などにも生かされています。そのうち、支部運営委員が活用できる「けんこうチャレンジ おすすめのススメ」シートや、支部で使える行動計画表、組織部内で担当者が共有できる支部別の取り組みシートは、4月からすでに取り入れられています。さらに、昨年に引き続きスポーツ吹き矢大会の開催や、3年ぶりに復活した脳いきいきインストラクター養成講座など、ユニークな取り組みも行われています。地域組合

員の皆さまと組織が一体となって、健康づくりの輪を地域に広げていきたいと思っています。

広島中央保健生協理事
健康づくり委員会

けんこうチャレンジ 2017

けんこうチャレンジへの参加でひろしまヘルスケアポイントが獲得できます！

広島県生協連では、広島県が推進する県民の健康づくりに対する意欲を高める取り組み、「ひろしまヘルスケアポイント」に協力し、けんこうチャレンジへ参加することでポイントが獲得できるように、広島県と連携した取り組みをおこなっています。

是非とも、けんこうチャレンジに参加して、自分の健康づくりへチャレンジすると同時に、うれしい特典をゲットしてください。



ひろしま ヘルスケアポイント

県民の健康づくりを応援！

「ひろしまヘルスケアポイント」がスタート！

広島県健康福祉局地域包括ケア・高齢者支援課

広島県民の『健康寿命』がどのくらいか、皆さんご存知ですか？平成25年のデータでは、男性は70.93歳で全国33位、女性については72.84歳で全国46位といずれも低位なのが現状。いつまでも元気であるために、一人ひとりが健康づくりを心掛けたいですね。

広島県では、県民の皆さまに健康づくりに対する意欲を高めていただくため、県内の市町と協働して、3月10日から「ひろしまヘルスケアポイント」を開始しました。

「ひろしまヘルスケアポイント」では、栄養バランスの良い食事、体重や歩数の記録など、日常生活の行動でポイントが貯まるほか、特定健康診査やがん検診を受診することで大幅なポイントが獲得できるなど、ゲーム感覚で楽しく健康づくりに取り組みます。

貯まったポイントは協賛企業で使えるポイントがもらえたり、抽選でスポーツ観戦チケットがもらえたりと様々な特典を受けることができます。

■参加資格

18歳以上の県民の方

■取組方法

- ①「HMカード」を取得してください（無料）。
（二次元コードをスマートフォンで読み取るか、「HMカード 申請」で検索して、申請サイトから申請してください。）
- ②「HMカード」のIDで、パソコンやスマホで「ひろしま健康手帳」にログインし、実践した健康づくりの取組を入力すると、ポイントが貯まります。
- ③ポイントを貯めるとステージが上がって、ステージに応じた特典が受けられます。

○詳細な入力方法や協賛事業者等は広島県の「ひろしまヘルスケアポイント」のサイトに掲載しています。

■ひろしまヘルスケアポイントに関するお問い合わせ先

広島県健康福祉局地域包括ケア・高齢者支援課

・健康長寿グループ：082-513-3214

広島県ホームページ

「ひろしまヘルスケアポイント」サイト

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hhcp/>



■HMカードの取得に関するお問い合わせ先

広島県医師会HMネット事務局：082-568-2117

HMカード申請サイト

<https://kenmin.hm-net.or.jp/KENMIN/Hmcard/Issue1>



こんな健康づくりでポイントが貯まります

区 分	取 組	獲得ポイント	入力方法
疾病予防 (早期発見)	特定健康診査等の受診	500 p (年1回)	結果のアップロード (一部の機関では二次元コードの読み取り・アクセスコードの入力も可)※
	がん検診の受診	500 p (年1回)	
	歯科健診の受診 (市町実施に限る。)	500 p (年1回)	結果のアップロード
運動の促進	8,000歩以上	10 p / 日	アプリやホームページで入力
	歩数の記録 5,000～7,999歩	5 p / 日	
	3,000～4,999歩	3 p / 日	
	スポーツジム等健康づくり施設の利用	5 p / 日	対象施設での二次元コードの読み取り・アクセスコードの入力※
栄養バランス	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事	3 p / 日	アプリやホームページで入力
健康状態 の認識	体重の記録	5 p / 日	
	適正体重 (BMI) の維持 適正体重 (BMI) への変化	10 p / 日	
社会参加	健康イベント等への参加	30 p / 回	対象会場での二次元コードの読み取り・アクセスコードの入力※

※二次元コードの設置施設や入力方法は、ひろしまヘルスケアポイントホームページで確認してください。

2017 年度「平和活動キックオフ集会」



【主 催】
2017 年度平和活動
キックオフ集会実行委員会
・広島県原爆被害者団体協議会
・広島県原爆被害者団体協議会
・広島県地域女性団体連絡協議会
・（公財）広島 YMCA
・広島県青年連合会
・広島県生活協同組合連合会



『核兵器なき世界』をめざして…

2017 年度平和活動キックオフ集会

『核なき世界』をめざして、
「2017 年度平和活動キック
オフ集会」が、5月26日（金）、
広島市中区の合人社まちづくり
ひと・まちプラザで開かれまし
た。生協ひろしま虹のコース
のウエルカムコースに、参加

者は迎えられ、会場には厳肅な
雰囲気。最初は、主催者を代表して
言で集会が始まりました。
最初は、主催者を代表して
広島県生協連岡村信秀会長理事が
昨今の世界情勢を語り、会の目
的を強調し挨拶。次に、（公財）



報告する箕牧さんを追う TV カメラ



活動報告を行う大越事務局長



情勢報告を行う岩崎常務理事



開会挨拶をする岡村県生協連会長



開会の挨拶を行う広島 YMCA 殿納副総主事



広島県生協連 2017 平和活動を紹介する戸田理事



平和活動のルーツを語る中奥事務局長



県の活動状況を説明する下崎課長

広島平和文化センター岩崎静二
常務理事が、「核兵器を取り巻
く世界情勢」と題して、会場正
面のスクリーンを通して国際状
況を紹介しました。

つづいて、プログラムは「活
動報告に。最初は、広島県原爆
被害者団体協議会大越和郎事務
局長が、「核兵器禁止条約をめ
ぐる状況とヒバクシャ署名の意
義」と題して報告。次に、「被
爆証言から得たもの」と題して、
証言活動の中から得たことを、
広島県原爆被害者団体協議会箕
牧智之副理事長が感情豊かに紹
介しました。次は、広島県から
「核兵器のない平和な世界の実
現を目指して」という内容で広
島県の平和活動状況を担当課長
下崎正浩氏が説明。広島 YMCA
A 中奥岳生事務局長は、折り鶴
の子の像を挙げて、「子どもの
平和活動のルーツ」を紹介しま
した。広島県生協連からは、戸
田真紀理事が、広島県生協連の
2017 年の取組を紹介し、一
連の活動報告は終了しました。

最後に、広島県生協連の高田
専務理事の司会で、質疑応答。
参加者からは「被爆者団体の活
動について」質問も出て、約 10
分間の質疑応答が終わり、会は
広島 YMCA 殿納隆義副総主事
の閉会の辞で幕が下りました。

（取材と文・Y）

ヒバクシャ国際署名



平和を願って署名する通行人



松井広島市長を中央に署名を呼びかけるヒバクシャ



広島を訪れた外国人女性も快く署名に応じてくれました



報道陣に囲まれて松井広島市長の求めに応じて署名する広島を訪れた外国人男性

ヒバクシャ国際署名

3月21日の第1回署名活動に続いて、6月1日(木)午前11時から約30分間、2回目の被爆者団体の署名活動が広島市本通から平和公園に続く元安橋上で実施された。この活動は、米ニューヨークの国連本部で6月15日に始まる「核兵器禁止条約」の第2回制定交渉会議を後押しするために、広島市の被爆者7団体が「ヒバクシャ国際署名」を集めるために行ったものだ。

今年2回目のこの活動には、松井一実広島市長が7団体の要請に応え街頭行動に参加。核兵器廃絶へ、7団体の代表たち約40人とともに、道行く人々の署名協力を訴えた。

ヒバクシャ国際署名は、日本被団協の提唱で昨年4月に始まり、核兵器を禁止・廃絶する条約を世界の全ての国に求めるものだ。松井市長は、署名活動後、記者団の質問に、「第2回会議も不参加を表明している日本政府に改めて参加を要請する」という意向を示した。また、広島県被団協(坪井直理理事長)の箕牧智之副理事長は、「国連へできるだけ多くの署名を届けるのが私たちの役目」、「私たちはあとながい」と力を込められた。

集められた署名は、東京の事務局で集計し、被爆者たちの第2回会議の渡米団に託される。

(取材と文・Y)

ヒバクシャ国際署名



核兵器のない世界を目指して呼びかける。



ぼうさい学習会開催！



ぼうさい学習会の様子



乾物とツナ缶を使って調理

生協ひろしま・広島呉地区郵便局長会 ぼうさい学習会開催！

5月13日、生協ひろしまは広島呉地区郵便局長会と共同開催で、ぼうさい学習会を開催しました。両者は、よりよい暮らしをめざして、地域の人や環境との繋がりを大切に活動していることから、以前から共同で取り組みを推進しており、今回も共同開催となりました。

東日本大震災や広島市土砂災



みんなで試食

害などの危機管理から、各自治体や民間企業、個人でも防災・減災への関心が高まっています。私たちは、相互の助け合いを軸に、身近なところで災害について正しい知識や行動が実践に結びつくことを願い、学習会を開催しました。

昨年は、広島・呉の2会場です。市町の危機管理課や消防士の方々からお話を聞き、災害が起きた時に情報を聞くことの大切さと、日頃からの備えをして

おくことなどを改めて考え直す場となりました。

今回は、昨年の学習会に続く第2弾として、参加者同士が話し合いをすることを重視して行いました。最初に、広島市南区役所よりハザードマップの説明や避難時の心構えなどのお話いただいた後、学んだこと、思ったことを参加者同士で話しました。改めて災害への意識・減災の取り組み・避難についての準備などについて、まずは家族と

話すことが大切という声がありました。

次に、生協から、生きるための食の提案をおこないました。参加者に目を閉じて落ち着いてもらい、突然の地震や災害が発生したと想定して行動。そして、命は助かったと仮定して、その後、食することに関心を向けてもらいました。電気、ガスや水に不自由した時、乾物や缶詰などで一品作る。火や水が使える状態なら、ポリ袋でご飯を炊くことなど、模擬調理をして試食をしたことで、普段料理をしない方でもできることがある、男女問わず協力出来ると興味を持ってもらえました。

「自助・共助・公助」。まずは自分が自分の命を守るところから始まる。そのことに関心を持つきっかけづくりとして、私たちが応援できたことは、たいへん良かったと思います。大きな成果でした。

次回開催に向けて、小さな地域単位で、身近に住む人を知り、危険箇所や避難場所・避難所を知ることや、実際の食事を作ることを体験するなど、行動で実感できるような企画を考えたいと思います。

(文責…生協ひろしま戸田真紀理事)

「子ども食堂・居場所」シンポジウム ユニセフラブウォーク

「子ども食堂・居場所」シンポジウム 広島中央保健生協

広島中央保健生協は、4月25日に「子ども食堂・居場所」シンポジウムを開催しました。社会的な関心と呼ぶ「子ども食堂」がテーマということもあって、他団体からの参加者も多く、31名の参加がありました。



なごやかに進行——



会場の様子

今回は、すでに子ども食堂を実践しているキリスト教社会館「スペースこむぎ」と、広島YWCA「カレパティー」の担当の方から日頃の活動状況をお聞きしました。「スペースこむぎ」は、運営母体が保育園や児童館を運営している事もあり、地域に根付いた活動が特徴的で、食事内容にこだわっておられました。「カレパティー」は、学生ボランティアなど比較的若いスタッフが軽やかに対応されているのが印象的でした。日ごろの活動中での苦労話や子どもたちの現状と関

わり方、そして運営資金と援助金のことなど、「ブッチャケ」話も含め、示唆に富んだものでした。何よりも、報告者のお二人とも子どもたちの笑顔や喜びを感じておられることがひしひしと伝わってきました。

廿日市から参加の方とは、シンポジウム開催後すぐに、今後の取り組みの方向性について話し合いを行いました。広島中央保健生協でもこれを機会に、さらに前向きに「子ども食堂」実現に向け、人と人との結びつけ、生協らしい食堂作りを検討していきたいと思うシンポジウムとなりました。

〔文責〕広島中央保健生協理事兼社会福祉委員会

ユニセフラブウォークin因島

日立造船因島生協家庭平和活動グループ



参加した組合員さん



商店街をラブウォーク



行進の様子

5月13日（土）に今年も、ラブウォークin因島を開催いたしました。

当日は、朝からあいにくの小雨模様でしたが、出発の前にタッピングよくやんで37名（内子供2名）の組合員さんが参加して、無事終える事ができました。また、行進後に、フレニールの店頭で家庭会組合員さんと一緒に、ユニセフの募金活動を行いました。参加者の皆さんや募金参加をいただいた皆さんのおかげで、総額25,439円の募金が集まりました。ご協力



店頭での募金活動

いただいた募金は、ユニセフ協会へ送らせて頂きます。ご協力ありがとうございました。

ユニセフ協会では、すべての子どもが健やかに成長できる世界、子どもたちの夢と未来を守るために、教育、保健、栄養、水と衛生、保護、緊急救援などの支援活動を続けています。こうしたユニセフの活動を支えているのは、私たち一人ひとりの募金です。私たちは、今後もラブウォークin因島のイベントへ1人でも多くの方々にご参加いただき、微力ながら支援を続けて行きたいと思えます。皆様のご協力をお願い致します。

〔文責〕日立造船因島生協 大本積事務理事

赤ちゃんサポートステーション ワーカーズ協同労働事例発表会

赤ちゃんサポートステーションを開設！

生協ひろしま

ひろしまフラワーフェスティバル

生協ひろしまは、5月3日(水)～5日(金)に行われたひろしまフラワーフェスティバルで、授乳室やおむつ替えスペース、調乳用のお湯なども提供する「赤ちゃんサポートステーション」を設置し、赤ちゃん連れ

のご家族をサポート。3年目となる今年には、輪投げや的当てのコーナーも設置しました。CO・OP共済の人気キャラクター「コーすけ」との記念撮影会もあり、多くの子どもたちの笑顔に出会うことができました。



みんなでサポートします！



イクちゃんとコーすけ



受付を待つご家族連れ

福山ばら祭

5月21日(土)・22日(日)の両日、福山市で開催された「第50回福山ばら祭」に生協ひろしまから「赤ちゃんサポートステーション」が出店しました。2回目となる今年は、両日とも気温が30度を超える中、人

気者のコーすけも頑張って小さいお子さんと楽しく遊びました。たくさんママ・パパ達に、おむつ交換室や授乳室をご利用いただきました。(報告：生協ひろしま 大山敏明 課長)



福山ばら祭会場



暑い中、コーすけも大活躍



サポートステーションの中の様子

ワーカーズ協同労働事例発表会



協同労働取組事例発表会会場



講演する古村専務理事



事例を紹介するケサラの下田さん



GO・郷まつむねを紹介する下田さん

5月10日(水)、広島市中区の合人舎ひと・まちプラザにおいて、地域と自分を笑顔にする働き方「協同労働取組事例発表会」が開催されました。

午後6時、発表会は、主催者である広島市経済観光局福岡美鈴次長の挨拶を皮切りに、協同労働プラットフォームの山口豪氏の事業の説明からスタート。続いて、日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会の古村伸宏専務理事の「地域の中で、地域のために『はたらく』こと」をテーマの30分間の講演がありました。次に、協同労働取組事例の発表。最初は、安佐北区可部町勝木の「ケサラ」田山幸子さんの「たすけあいのまちづくりをめざす」。2番目は、安佐南区伴東GO・郷まつむね下田彰さんの「集いの場と楽しい時間を提供」。最後に、「暮らしやすい環境を整備」と題して、東区東山の向谷敦志さんの発表がありました。会場は静かで熱い共感を生み出しました。(文責 Y)



楽しく事例紹介する向谷さん

生協連の催し告知

2017 ピースアクション in ヒロシマ 虹のひろば

ヒロシマの心を次世代のあなたへ ～あなたは何を継承しますか～

■日 時 2017年8月5日(土) 13:10～16:30 (開場 12:30)

■場 所 広島県立総合体育館 グリーンアリーナ

虹のひろば

生活協同組合は、創立時から「平和とよりよき生活のために」をスローガンに掲げ、市民の立場から、戦争のない平和な社会の実現を願い活動をしています。8月5日は、広島で平和についての想いを広げ、各地の平和の取組みを交流する「虹のひろば」を開催します。

第1部 虹のステージ 13:10～14:40

■広島市立沼田高校演劇部被爆劇上演——広島市立沼田高等学校演劇部による広島原爆をテーマにした劇「風の電車」(黒瀬貴之作)の上演

■ヒバクシャ国際署名の取り組み報告



沼田高校演劇部「風の電車」より

第2部 みんなの広場 14:40～15:50

■安田女子大学書道学科大書パフォーマンス——安田女子大学書道学科の学生さんが書く大書は、圧倒的な迫力と感動的なパフォーマンスです。

■広島市立基町高校「原爆の絵」展示

被爆体験証言者と共同で作成した原爆の絵を展示します。

■広島県立福山工業高校「原爆直後の広島市内の復元映像」上映

コンピューターグラフィックスを用いた被爆直後の広島市の復元映像を上映します。



大書パフォーマンス

第3部 フィナーレ 15:50～16:30

■子ども平和会議——全国から未来を担う子どもたちが集まり、平和を考えます。みんなで考えたアピール文を読みあげます。

■虹のひろば合唱団

二度と広島や長崎のような悲惨な出来事が起きないように、広島から平和を願い歌います。



虹のひろば合唱団

【予 告】

『2017 市民平和フォーラム』(仮称)～「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集い～

■日 時 2017年10月19日(木) 13時15分～16時30分頃

■場 所 広島県民文化センターホール

■参 加 約500名(行政・生協関係者・被団協関係者・一般市民他)

■入場料 無料

■主 催 広島県生活協同組合連合会 ■共 催 広島市民平和6団体実行委員会

■協 賛 広島県・広島市・(公財)広島平和文化センター・広島県教育委員会・広島市教育委員会・広島市立大学(予定)

■後 援 マスコミ各社(予定)

■主 旨 ・広島県生協連創立50周年の記念行事として開催します。

・被爆の継承と平和文化を「広島の復興を支えてきたカープとお好み焼」「平和を尊ぶ次世代のあなたへ」というテーマで広島からメッセージを発信します。

■プログラム(案)

①シンポジウム「広島の復興を支えてきたカープとお好み焼」(仮題)

・「なぜ、広島にお好み焼があるのか」 広島市立大学 特任教授 國本善平氏

・「なぜカープは市民に愛されるのか」 NHK広島放送局報道番組ディレクター 鈴木昭弘氏

②記念講演「戦後72年・次世代のあなたへ」(仮題) 広島市立大学 教授 直野章子氏

③ミニコンサート(カープジャズ)

50 周年に寄せて

広島県生協連創立50周年に寄せて

「二人は万人のために、万人は一人のために」



広島県生協連虹友会（OB会）会長
（広島県生協連元副会長・呉生協元常務理事）

吉本 政治

広島県生協連創立50周年おめでとうございます。創立以来、数々の困難な時代を乗り越え、今日の活動に敬意を表します。

1984年より1998年まで、私は県連役員に在籍しました。この間、今は亡き木村、田中、桂田、中郷、富田各会長・副会長の指導のおかげで、数々の問題に接し、その都度乗り越え、貴重な体験をさせていただきました。県連役員就任時は、購買生協くらいしかよく知らない私は、生協には学校、高校、大学、市民、医療、共済などがあり、それぞれの環境の違いに戸惑ったことを思い出しました。

1980年代不況を乗り越えて

第2次石油危機以後の経済混乱の中で、全国の購買生協も店舗大型化で不況を乗り越えようと、全国各地に大型店舗の出店に取り組み始め、出店をめぐる小売業界から生協を規制する動きが出てきました。それに対し

県連では、1985年に規制反対の組合員署名に取り組み、併せて友誼団体にも賛同署名を呼びかけました。

また、事業の方では、共同購入事業が爆発的な伸びを示し、広島県民生協と広島中央市民生協が合併し、「生活協同組合ひろしま」が誕生しました。一方、

県内の職域を中心とした購買生協は、産業構造不況に見舞われ、最大の経営不況に陥りました。呉生協では造船不況をまともに受け、深刻な経営不振に至り、それを乗り越えるために生協ひろしまと共同購入事業で全面的な事業連帯に踏み切りました。その後、同事業の飛躍的な伸びにより、経営状況が大幅に改善されました。それにより1992年に、生協ひろしまと全国で初めてとなる生協同士の共同出店も実現しました。

一方、日立造船因島生協でも、日立造船因島工場が新造船部門から撤退、厳しい経営状況に見舞われましたが、店舗のリ

ニューアル、生協ひろしまとの共同購入の事業連携等により、回復しました。また、新しい共同購入生協グリーンコープ生協ひろしまも発足し、県内の生協全体で事業規模を拡大しました。

多くを学び、活動は今も

組合員活動では、女性の社会進出、男女共同参画が本格化し、日本生協連でも日本女性評議会が設置され、今では多くの女性が生協各部門で活躍し、県連でも多くの女性理事が活躍されています。また、平和活動では、生協虹のひろば、市民平和行進等に取り組みました。市民平和行進では、福山市大門で岡山県連から引き継ぎ、広島平和公園まで県内生協が中心となって歩いたのは、暑い中での楽しい行進の思い出です。また、日本生協連の理事会を8月5日に広島で開催し、翌日の8月6日の平和記念式典に理事の皆さんが参列したことも思い出です。

県連では多くのことを学び、現在地元でのボランティア活動に活かしております。

「二人は万人のために、万人は一人のために」。この言葉は今も私の信念です。

今後の広島県生協連の更なるご発展を心からお祈り申し上げます。

50th
Anniversary

広島県生活協同組合連合会は
今年創立50周年を迎えます

理事会・委員会報告 消費者ネット広島

理事会・委員会報告

第5回理事会報告

開催日 4月21日

場所 広島県生協連

3階会議室

出席 理事17名中11名出席、監事2名中2名出席

議決事項

他団体の公職承認について、広島県消費生活審議会委員(株)ジェイ・イー・サポート監視委員会監視委員の選出について承認決定した。

協議事項

1. 2017年度通常総会については、2016年度決算と剰余金処分案及び監査報告、2017年度収支予算(2次案)、2016年度活動報告と2017年度方針(2次案)、役員報酬決定について確認した。また、通常総会の運営・役割・スケジュールについて確認した。

2. 広島県生協連50周年企画については、実施項目と大枠予算案を確認した。

報告事項

各事項について説明を行い、全事項について確認した。

- ・ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名の取り組みについて
- ・2017年度平和活動キックオフ集会について
- ・2017年4月以降の広島県生協連組織体制について
- ・他団体への後援名義について

第1回組織平和委員会報告

開催日 4月14日

場所 広島県生協連

3階会議室

主な協議・報告事項

・2017年度の平和活動の各取組(ヒバクシャ国際署名、2017市民平和行進、2017ピースアクションinヒロシマ、2017年度平和活動キックオフ集会)について

・けんこうチャレンジ2017の取り組みについて

・2017年度地域支援事業に係わる第一協議体との協議について

・2017年わが家の電気・ガス料金しらべの取り組みについて

第1回福祉・介護委員会報告

開催日 6月1日

場所 広島県生協連

3階会議室

主な協議・報告事項

・2017年度福祉介護委員会活動計画(案)及び推進体制について

・広島市協議体への参画について

・2017年度経営比較分析(地域密着刑事事業)の提案

・福祉・介護委員会規則について

・健康づくり分野の活動の進捗状況について

(文責：広島県生協連 福島 守)

消費者ネット広島

消費者トラブルの手口を知ろう②

近年、振り込め詐欺やインターネットを悪用した詐欺などの被害が後を絶ちません。消費者トラブルは身近なところに存在しています。情報を知り、被害にあうことがないよう、また被害にあったときの対処法について、備えておきましょう。

「お金が戻ってくるのでATMに行くように」は詐欺です

(2017年1月17日 独立行政法人国民生活センター 見守り新鮮情報第271号より)

【事例】

市役所から「4年分の医療費の還付金が2万円ほどある」と電話があった。「手続きは今日中だが、取引銀行はどこか」と聞かれたので答えると、銀行から電話をさせると言われて切れた。すぐに銀行から電話があり、家の近くのATMで待ち合わせることとなった。しかし、ATMに行くと、「急用で行けない。これから電話で手続きを案内す

る」と言われ、指示通りにATMを操作した。その後すぐ通帳を見ると100万円近く引き出されていた。(70歳代 女性)

ひとつと助言

★高齢者を狙った還付金詐欺のトラブルが後を絶ちません。「お金が戻ってくるので携帯電話を持ってATMへ行くように」と言われたら還付金詐欺です。行政や金融機関の職員が還付金等の受け取りのためにATMの操作を行うように連絡することは絶対にありません。

★「手続きは今日中」などとせかされても、慌てないことが大切です。周囲に相談するなど、冷静に対処しましょう。一度お金を支払ってしまったと、取り戻すのは極めて困難になります。★不審な電話があったら、最寄りの警察やお住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください(消費者ホットライン1880)。

(消費者ネット広島 宗山事務局長)



「平和を願う思いを一つに」

広島 YMCA

総主事

上久保 昭二

かみくぼ しょうじ

1975年広島YMCA奉職、広島・福山YMCA少年部主事職を経て、東広島YMCA館長、米子・岩国の専門学校事業の事務長や国際コミュニティセンター事務局長を歴任、日本YMCA同盟で国際事業担当者として従事後、2010年広島YMCA第8代総主事に就任。現在に至る。

2017年6月となり、広島YMCAは79年目の夏を迎えようとしています。広島YMCAが設立されたのは1938年10月のことでした。前年に日中戦争が始まり、その年には国家総動員法が発令され、若者の多くが軍部に徴用される中、礎石だけは創っておこうとYMCAの会員の先達たちは設立に踏み切ったのです。1941年、戦争に突入し活動の多くは制限され、原爆によって広島は全てを失います。しかし、投下からわずか3か月後の1945年11月、生き残った会員達は広島復興に向けて歩みを始めます。多くの子ども達が家や家族を失い、失意の中にあった青少年達を集め「子ども会」をつくり指導をしていきました。平和記念公園にある「原爆の子の像」の建立運動や「原爆ドーム」の保存運動等、YMCAに集う子ども達の協力も大きかったことは確かです。

戦後、広島YMCAは青少年がよりよく生きていける社会をめざして、平和や核兵器の廃絶ということを基軸に活動を行ってまいりました。現在の日本を眺めると、政治・教育・福祉・人権といった重要な分野が危機的な状況にあると感じます。教育勅語を容認するような発言や自衛隊の紛争地域への派遣、多文化共生を認めない風潮や福祉の削減、テロ防止ということを名目にした法律の準備等、日本国憲法が、また日本国民が戦後一貫して守ってきた「平和」ということが壊されようとしています。これは決して容認することはできないことです。



日本の国がそういった風潮にある中で、YMCAは、YMCAの独自性を活かしながら草の根の平和活動を行っています。夏には広島県生活協同組合連合会や広島県原爆被害者団体協議会を中心とした市民6団体で「市民平和行進」を実施し、市民の皆様とともに世界に平和を訴えます。また、世界の若者を招聘し、日本の若者とともに平和について考える「国際青少年平和セミナー」や、世界から送られてくる平和のメッセージを

灯ろうにして浮かべる「平和の灯ろう流し」などを8月6日に開催いたします。

大切なことは、広島若者が世界の若者となることがにより、「友達がいる国とは戦争はしない」と感じてもらえる若者を、いかに多く育てていくかということです。言い換えれば、「平和の源は友達作りから」ということを実践を通して、いかに身につけるかと言うことです。彼らが社会人になり、その多くが

今の日本を世界に誇れる平和な国にしてくれることを夢見ています。

すべての人が安心して平等に暮らせる社会をめざすことは、生協の願いでもあると思います。今後も真の平和を求め、実践するNPOやNGO、諸団体と協働・協力して、平和な社会をめざし、共に歩んでいくことを願ってやみません。

【編集室から】

広報誌はもとより、さまざまな印刷物にとって、文章を構成する「文字」は欠かせない。印刷物の場合、この文字のことを「活字」と呼ぶ。かつてこの活字は、鉛の合金のハンコ状のものであったが、それが硬化プラスチックに変わる。また、オフセット印刷の普及とともに、活字とは違う写真植字というものが登場し、一時代を築いた▼写植が時代の主流となつてから、文字はワープロの時代となり、パソコンの出現と同時に印刷文字も「フォント」に取って代わられた。このフォントというのは（詳細は省く）、文字の輪郭を線でできくり、中を塗りつぶしたものである。活字や写植は、必要な大きさの文字は、その大きさのサイズを用意しなければならない。が、フォント文字は、大きさを自在にできるので、印刷には最適である▼活字の種類は、日本語の場合、大きく分けて、明朝体、ゴシック体の2種類がある。この広報誌の文章も、この明朝体とゴシック体の2種類だけで構成されている。明朝体とゴシック体との違いは、明朝は品があり弱い、ゴシックは強く目立つ。しかしその分、多用すると品がなくなる。印刷物のほとんどの文字は、明朝とゴシックで構成されているが、編集者は、その2種の文字を「いかに使うか」と頭を悩ませているのである。（Y）

平和とよりよき生活をめざして



広島県生活協同組合連合会

〒730-0802 広島市中区本川町2-6-11
第7ウエノヤビル5F
TEL 082-532-1300 FAX 082-232-8100
E-mail: kenren.h@proof.ocn.ne.jp
URL: http://hiroshima.kenren-coop.jp

あなたの近くの全労済。全労済 共済ショップ 銀山店

広電「銀山町」電停前に



暮らしの中のいろんな「安心」、お気軽にご相談ください!



「パンフレットだけでも…」大歓迎!
パンフレットのお持ち帰りだけでも、お気軽にお立ち寄りください。

平日 夜6時まで営業!

土曜日にも営業いたします!

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会
全労済 広島県本部
(広島県労働者共済生活協同組合)

全労済は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

☎ 0120-39-6031

※お電話でのお問い合わせは、平日AM9:00～PM5:00までとなります。

〒730-0016 広島市中区鞆町14-14 広島教販ビル1F

営業時間 / 平日 10:00～18:00・土曜日 10:00～17:00(日曜日・祝日・年末年始を除く)

新しく組合員になれる方へ(出資金について)

全労済は消費生活協同組合法に基づき、非営利で共済事業を営む生活協同組合の連合会です。生活協同組合は、組合員の参加により運営されており、出資金をお支払いいただければどなたでも都道府県本部の組合員となることで、各種共済に加入できます。新しく組合員とされる方は、生活協同組合連合会のために出資(1,000円以上)をお願いしています(出資金は1口100円で、最低1口以上の出資が必要です)。出資金は、加入される共済の掛金払込方法に応じて下記の通りお願いしています。

【掛金の払込方法】月払いの場合:1,200円(毎月100円×12ヵ月)、年払いの場合:1,000円(1回のみ)



(一部CG合成があります)

OPEN記念 ご来店プレゼント

2017年7月31日までに
ご来店の方に、もれなく



ジップロックコンテナまたは
マイクロファイバークロス
ご希望のいずれか1点を
プレゼント!

※写真はイメージです。
※数に限りがありますので、グッズが変わる場合があります。
※あらかじめご了承ください。
※プレゼントは1家族1個とさせていただきます。

詳しくは全労済広島県本部ホームページ!
このキーワードで検索してください
ひろしまろうさい

広島6031

検索



ご契約者の皆さまへ

全労済は、将来の支払いに備えて、厚生労働省令に定められている共済契約準備金をこる充分な積み立てを行っています。また、資産運用のリスクを適切に管理し、健全な資産運用を行っています。全労済は、これらも引き続き健全な経営に努めていくとともに、情報開示を積極的に進めていきます。また、個人情報保護法をはじめ関連する法令等を遵守し、お預かりしたお客さまに関する情報について厳重な管理体制のもとに正確性・秘密性・安全性の確保に努めています(※詳しくは各都道府県の全労済にお問い合わせください)。